

ポリマーズ・イン・コンクリート

PICの国際的な流れと 国内における研究開発動向

PIC(ポリマーズ・イン・コンクリート)の研究開発は、時代の流れとともにグローバルな動きのなかで進められてきた。ポリマー改質セメントモルタルや樹脂モルタル、ポリマー含浸コンクリートにはじまり、近年ではジオポリマーや自己治癒コンクリートなど新材料・新工法が開発されてきている。特に建設分野では多様化するニーズに応えるべく、新材料の開発も期待されている。

時代が求めるPICとは何か。本特集では、昨年11月号に続き、PICをテーマに取り上げ、これまでの国際コンクリートポリマー複合体会議の活動と国内における研究開発について紹介し、今後の展望を探る。
(編集部)

◆ ICPICのあゆみとこれから

秋田大学 川上 洵 … 36

◆ レジンコンクリートの歴史と将来展望

ヒノデホールディングス 甲斐 信博 … 40

◆ 高耐久性埋設型枠 PICフォーム

マテラス青梅工業 鶴田 健 … 43

◆ PICとK. ガムスキー先生

工学院大学 難波 蓮太郎 … 51

◆ PIC委員会第200回定例会の総括と 今後のPICについて

PIC委員会 若杉 三紀夫 … 56